

(様式 1)

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート

[団体名：長野県銃剣道連盟]

[記載日：令和7年4月24日]

【対応状況に係る自己評価】

A：対応している

B：一部対応している

C：対応できていない

項目	対応状況
<b>原則 1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。</b>	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	A B C
(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 公益社団法人 全日本銃剣道連盟定款に基づき、長野県銃剣道連盟規則を遵守し、適切な団体運営を行っている。	Ⓐ B C
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 国体銃剣道競技県予選規定を始め大会要項を遵守し、運営に努めている。	Ⓐ B C
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 役員改革に取り組み、会計担当者の管理を実施し、長野国スポに対応する役員構成としている。女性役員（監査役）を6年度より配置した。	Ⓐ B C

<b>原則 2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。</b>	
(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。	Ⓐ B C
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <p>長野県銃剣道連盟規則において基本方針等を策定し、連盟ホームページで公表することとした。長野国スポに向け競技力向上を重視し、女性会員の育成を強化している。</p>	
<b>原則 3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。</b>	
(1) 役職員に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	Ⓐ B C
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <p>中央競技団体によるコンプライアンス教育等受講し、県連盟役員に対しコンプライアンス教育を実施している。</p>	
(2) 指導者、競技者等に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	Ⓐ B C
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <p>県連盟主催講習会を利用し教育を行うこととしており、監督選手に対し強化練習時コンプライアンス教育を実施している。</p>	
<b>原則 4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。</b>	
(1) 財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守しているか。	Ⓐ B C
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <p>長野県銃剣道連盟規則及び会計処理規定により処理に当たっている。</p>	
(2) 国庫補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令、ガイドライン等を遵守しているか。	Ⓐ B C
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <p>補助金交付規定を遵守し、適切に会計処理している。</p>	

(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	Ⓐ B C
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) 二重チェックにより処理、監事は(自衛官、一般2名体制)により監査報告がなされている。	
<b>原則5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。</b>	
(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	Ⓐ B C
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) 法令に基づき収支決算報告を行い適切に運営、ホームページ設置により開示に努めている。	
(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。	Ⓐ B C
情報共有によりオープンに運営し、ホームページにより開示をしている。	
<b>原則6 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合、ガバナンスコード&lt;NF 向け&gt;の個別の規定についても、その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。</b>	
自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード<NF 向け>の規定があるか (ある場合は下欄に記述)	
原則■について	—
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)	
原則■について	—
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)	